

### 中国、韓国で実施



社会科学研究所(以下、社研)から昨年9、10月に中国、韓国で行われた2010年度海外調査・研究活動の成果が届いた。

### 中国内陸部で調査・研究交流

2008年9月のリーマンショック後、中国はいち早く総額4兆元の「内需促進・経済成長のための10大措置」(2008年11月9日)を発表し、自動車、家電への種々の補助金制度も奏功し、内需主導型の成長に旋回し、現在「機関車」の役割を担っています。社研ではその成長の実態を中国の内陸部で確認するべく、安徽省合肥市、湖北省武漢市、陝西省西安市で調査を2010年9月5日から11日にかけて実施しました。



中国自動車企業、日系建設機械企業、日系コンプレッサ

## 社会科学研究所 2010年度海外調査・研究活動

社会科学研究所(以下、社研)から昨年9、10月に中国、韓国で行われた2010年度海外調査・研究活動の成果が届いた。企業、国家級技術開発区、安徽省社会科学院等を訪問し、写真①、得難い調査・研究交流が実現されました。その成果は「専修大学社会科学研究所月報」No.572、573号に掲載されています。上記内容振興策が奏功した伏線ともなっている「中部地区崛起政策(2006年発表)の舞台となった中部6省経済についての研究は日本ではあまり知られていません。そこで安徽省社会科学研究所から贈呈された『中国中部地区発展報告(2010)』の巻頭の総論の一部を、了解を得たうえで前記月報に訳出し掲載しました。

第3回合同研究会を檀国大キャンパスで  
また、その翌10月9日に檀国大学との第3回合同研究会を檀国大学天安(チョナン)キャンパスで実施しました。写真②。今回は町田俊彦所長(経済学部教授)が「民主党政権下の経済政策- 税制改革を中心に」、田中隆之所員(経済学部教授)が「非伝統的金融政策」と題して報告し、また蔡廷錫所員(経営学部教授)が檀国大学から発表された2人の報告にコメントを加え、有意義な研究交流となりました。

以上の報告は「専修大学社会科学研究所月報」No.571号に掲載されています。上記のナンバーを含め月報は社研HP上にリンクされています。  
(http://www.senshu-u.ac.jp/~off/1009/gepp\_o.html)。ご参照ください。  
(経済学部教授・宮崎晃臣)

### 川崎国際環境技術展に情報科学研究所が出席

専修大学情報科学研究所(所長 大曾根匡経)は2月16、17の両日に川崎市中原区のとどろきアリーナほかで開催され、1万2500人が来場した「川崎国際環境技術展2011」に出展した。ネットワーク情報学部・上平崇仁「プロジェクトの『Konei』『食べる』を知らう」のほか、綿貫理明同学部教授が川崎市産業振興財団のコーディネーターで太陽電音



▲来場者に説明する綿貫教授(右)

### 自転車型人力発電機も展示

「のビジネスモデルを展示。これは、風力・太陽光など再生可能エネルギーに人力を統合・蓄電し、日常生活に活用する第一段階として、自転車型的人力発電機を考案したもの。2011年度綿貫プロジェクトの学生らが説明を担った。同プロジェクトには阿部孝夫川崎市長をはじめ、マダガスカル公使など外国の来賓、電力会社やスポーツクラブなど多くの来場者があった。当日の様子は地域のケーブルテレビYOUテレビでも配信された。同教授は「数十年後には必ず枯渇する石油や、今問題となっている原子力に頼らない、自然エネルギーと人力エネルギーを有効活用する社会基盤の構築を目指して開発しました。今後、体育会の協力を得て総合体育館で実験を重ね、将来的には体育館で使う電力の一部を人力発電で賄えるように研究を進めていきたい」と話した。

### 展示・講座情報

- ★図書館 春の企画展「水滸伝VS八犬伝」  
4月1日から27日まで図書館本館(生田キャンパス9号館)で。10時から17時。日曜除く。詳細はホームページの特設サイトで。☎044(911)1274
- ★キャリアデザインセンター公開講座「プロフェッショナルが語る現代ビジネス事情2011」  
5月12日から7月14日の毎週木曜、神田キャンパスで全10回。19時から20時30分。在学生、在学生の父母、卒業生、一般対象。

東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまへ  
このたびの地震で被害にあわれた校友の皆さま、およびご家族、さらに被災されたすべての方々に對しまして心からお見舞い申し上げます。被災地が見事に復興しますよう、心からお祈り申し上げます。  
専修大学校友会

受講料など詳細はホームページで。☎044(911)7189  
計報  
八代 中氏(やつしろう) 名譽教授・元経営学部教授



個性を尊重するイタリ交流のかけはしを担う。アに暮らして30年。日本 榛名山の懐に抱かれた語教師として活躍する一方、イタリアの地方都市 大時代は「オートバイを紹介し、伝統文化を守り、人間本来のリズムで愛好会」をつくり、大学生活する」大切さを日本 対抗モトクロス大会に出人に訴える。日伊両文化 場、モーターサイクルの雑誌に投稿し、記事を書いた。卒業後、始めたばかりのパリ・ダカール・ラリーを追い、渡欧。著しい経済発展を遂げる日本への関心の高さに気づき、「欧州の若者たちに日本語を教え

言葉を教える者は「魅力ある人間」に  
「江副先生から日本語の美しさや歴史を持つイタリア各地を取材。NP OのNIGHTA(日伊文化交流協会)を組織、文化やスポーツを通じた交流に力を尽くす。長い間、異国から日本を覗いてきた。「もっと人間らしい生活があるはずでは」と豊かさはモノ優先ではない」と日本人に訴える。日本の学生たちには「自分の目で世界を見たい」と道が開ける」と自ら歩んだ道のりを示した。

「源氏物語」全54帖の「源氏物語」を讀みたいと考えている。向きには格好の1冊だ。随所に挟み込まれたコラムを愛読し、巻末には初

### 校友会からのお知らせ

▽4月9日(土) 16時開会  
▽4月12日(火) 17時開会  
▽4月15日(金) 18時開会  
▽4月18日(月) 19時開会  
▽4月21日(木) 20時開会  
▽4月24日(日) 21時開会



ゼミの卒業生ら約200人が祝う  
「梅本吉彦法学部教授退職記念祝賀会」が2月20日、東京都港区の「ホテルオークラ東京」で開かれた。ゼミの卒業生ら約200人が出席し思い出を語り合った。

変体仮名で読む源氏物語全和歌  
井上 八雲(昭48院文修)編著  
「源氏物語」全54帖の「源氏物語」を讀みたいと考えている。向きには格好の1冊だ。随所に挟み込まれたコラムを愛読し、巻末には初

蘇我氏は応神朝の末裔だ  
菅嶋 完彦(昭37法)著  
日本古代史の分野で独特天皇即位の謎に着目。自の研究を続け、「古代史を斬る」(自費出版)本紙430号既報)など

校友の本  
収録すると句索引が付されている。ともに、字 井上さんは茨城県立高校で教諭を30年以上務め、現在は地元で「変体仮名で読む源氏物語」講座を主宰している。監修は「源氏物語」に造詣の深い中田司名誉教授が担当している。(新泉社、本体価格3080円+税)